

令和2年度災害時参集把握調査表

令和2年4月1日現在

事業所名	徒歩圏の職員	参集把握区分			
		○ (可能)	△ (不確定)	× (不可能)	徒歩圏内で 参集可能人数
いつきの里	14	42	13	1	14
いつきホームズ	6	18	7	1	6
くるみ園	7	17	3	0	7
みらいきらきら	7	17	2	0	7
ウィズ	7	25	11	2	6
ラ・ルーチェ	0	10	4	0	0
北部相談支援センター	1	4	1	0	1
松山福祉園	9	37	6	0	8
きずなホームズ	5	10	0	0	5
地域生活者支援室	10	43	7	0	10
ホームヘルプ	3	13	6	1	3
福角会指定相談支援事業所	1	3	1	0	1
福角保育園	6	17	4	0	5
本部事務局	2	11	4	0	2
堀江保育園	5	16	2	0	5
合計	83	283	71	5	80

令和2年4月1日現在における職員の参集把握調査をいたしました。

今年度は職員359名のうち78.8%（283名）が参集可能職員であることが分かりました。

また、福角会への徒歩圏内の職員は83名で全体の23.1%で、参集可能人数は22.2%(80名)の職員となります。

大規模災害等においては初動対応が重要であり、いち早く職員の参集が必要と考えます。交通寸断が予想される状況においては、とりわけ徒歩圏内の職員の参集が重要となりますが、初動対応における参集可能人数は法人全体で20%の職員しか確保できないというのが現状です。BCP発動後、この20%程度の職員で対応が可能なこと等を検討・準備しておく必要があります。今後、危機管理委員会においてBCP発動後の初動対応の検討をしていきたいと考えています。

各事業所においても、初動対応時に参集できる職員数は、全体の2割程度ということをお含みおきいただき、対応を検討する必要があります。